

令和 5 年度

小学部 家庭科

【訪問 I 課程】

年間指導計画



- ① 児童の実態や体調に配慮し指導内容の組み替えや精選、時数の調整等を行う。
- ② 学習内容に応じて校外学習を適宜実施する。
- ③ 授業の内容においては視聴覚教材や ICT 教材等を活用し行う。
- ④ プログラミング学習は学校の教育活動全体の中で指導する。
- ⑤ キャリア教育を学校教育活動全体を通じて行う。
※訪問学級は原籍校と連携する。

月	テーマ	題材	小題材	時間	目標	主な学習活動		評価の観点 思考・判断・表現
						知識・技能		
4月	これまでの学習を家庭科で見つめることで、それを増やしていくことを通じて、できるようになります。	①家族の生活再発見（1H） ②生活を支える家庭の仕事（1H） 教:p.8~9	①家族の生活を見つめよう 教:p.3 ②生活を支える家庭の仕事 教:p.9	0.5	○これまでの学習をぶり返し、自分の成長を見つめ、自らの成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さに気付いている。 ○生活を支える家族の姿をイメージし、目からみで自分の姿をイメージし、自分で家庭科学習への意欲を高める。 ○よりよい家庭生活を実現するための見方考え方について意見を出し合いで4つの視点をイメージする。	○教科書を見て自分の一日の生活と比べる。 ○毎日の生活を支えている家庭の仕事には何があるか話し合う。 ○p.10の写真やp.11のイラストから調理実習で気を付けることや、調理をすることでどのようなことがわかるか考える。 ○調理の流れを知り、調理用具の名前や使い方を確認する。	・自分の成長を見つめ、自らの成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さに気付いている。 ・家庭生活と仕事について、課題の解決に向けた主体的に取り組もうとしている。	・家庭生活の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しきもどうとしている。
5月	生活を見つめることで、できるようになります。	③工夫しておいしい料理にしよう（1H） 教:p.10～19	①なぜ調理をするのだろう 教:p.10・11	1	○調理をすることの良さや、調理の流れ、調理用具の使い方が分かる。	○p.12～17 ○青菜のゆで方や野菜サラダの調理に必要な材料や手順を考えて、調理用具を安全で衛生的に取り扱い、野菜サラダを作る。	・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び、加熱調理器具の安全な取扱い、材料に応じて洗浄した切り方やゆで方、後片付けについて理解していることから、適切に手順や手順が分かれている。	・やでる調理の仕方にについて、課題の解決に向けた主体的に取り組もうとしている。 ・やでる調理の仕方にについて工夫し、実践しようとしている。
6月	生活を見つめることで、できるようになります。	②どのように用具や方法で野菜をはじめの一歩（1H） 教:p.20～24	①なぜぬうのだろう 教:p.20	0.5	○疑問点や調べたいことをもっと、課題を設定する。	○野菜のゆで方や野菜サラダの調理に必要な材料や手順を考えて、野菜をふた返り、学習したことを使って理解していることから、工夫している。	・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているところも、適切にできる。	・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題の解決に向けた主体的に取り組もうとしている。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。
7月	生活を見つめることで、できるようになります。	③整理・整頓（1H） 教:p.25～27	②どのように用具や方法で野菜をはじめの一歩（1H） 教:p.25～29	4.5	○玉結び、玉どめの役割が分かり、玉結び、玉どめができる。玉結び、玉どめの手順を理解する。 ○手ぬいを生活に生かそう（2） 教:p.25～27	○玉結び、玉どめの役割やボタンのつけ方が分かり、手ぬいを理解する。 ○手ぬいを生活に生かす（2） 教:p.28～29	・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解していることから、適切にできる。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題の解決に向けた一連の活動について、考え方などをわかりやすく表現している。 ・整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定している。	・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解していることから、適切にできる。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・整理・整頓の仕方について工夫し、実践しようとしている。
		③物の使い方を工夫しよう（1H） 教:p.32～33	④整理・整頓で快適に（4H） 教:p.32～33	1	○整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定する。	○これまで家庭科での整理で出た不用品を見て、なぜ同じ物やグループで詰合せたり、整理・整頓の仕方について実践に向かって改善しようと自らよいから、手ぬいを理解する。	・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解していることから、適切にできる。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	・整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・整理・整頓の仕方について工夫し、実践しようとしている。
		⑤できるよ、家庭の仕事（2H） 教:p.32～33	⑤できるよ、家庭の仕事を見つける。 教:p.32～33	0.5	○学んだことを生かして自分にできる家庭の仕事を見つける。	○これまで家庭科でのどのようなことを学んだか、学習ノートなどからぶり返り、できるようになったことなどを整理する。 ○見つけた仕事を取り組む計画を立て、実行することができる。	・家庭には、家庭生活を支える仕事があることを理解している。 ・家庭の仕事について、課題解決に向けた主体的に取り組もうとしている。	・家庭の仕事について、課題の解決に向けた主体的に取り組もうとしている。

評価の観点

月	テーマ	題材	小題材	時間	目標	主な学習活動		思考・判断・表現
						知識・技能		
9月	6 ミシンでソーイング (1H) B(5)ア、(イ) 教:p.38~47	①なぜミシンでねうだろ 教:p.38	○身の回りの生活にはミシンで作られているものやミシンに ものが多いくらいに気つき、ミシンに興味をも つ。	0.5	○身の回りの生活にはミシンで作られているものやミシンに が多いくらいに気つき、ミシンで話し合う。 ○ミシン使いの特徴について解説し、ミシンを使って作品を製 作する学習の展開をもつ。	・生活を豊かにするために布を用いた物の製 作について問題を解決して課題を設定している。	・生活を豊かにするために布を用いた物の製 作について問題を解決して課題を解決する。	・ミシン使いによる目的に応じた縫い方 について課題を解決する。
10月	7 食べて元気に (1H) B(1)ア (2)ア(ア), (イ), (オ), (3)ア(ア), (イ) 教:p.48~56	②ミシンの使い方を知ろう 教:p.39~41	○ミシンの安全な使い方を知る。	4.5	○ミシンを立てるための準備 ○ミシンを使つて作つてみ よう 教:p.42~47	・ミシンを立てるための準備 ○ミシンを使つて作つて作つて立てる。	・ミシンを使つて立てるための準備 ○ミシンを使つて立てるための準備	・ミシンを使つて立てるための準備
11月	生活を見つめ てできるこ とを増やして いこう	③なぜ毎日食事をするの たう 教:p.48	○なぜ毎日食事をするの たう	0.5	○なぜ毎日食事をするの たう	・食事の役割が分かる。 ○飲食をすることで話す。	・食事の役割が分かる。 ・食事の大切さについて理解している。	・おもい食べるための調理の仕方にについて問題を解決する。
12月	8 生活を支えるお 金と物 C(1)ア(ア), (イ) 教:p.58~63	④よい買い物の仕方を えよう 教:p.56	○毎日の食事に栄養を考えた食事やご飯と みそしるの調理を生かそう。	1	○毎日の食事に栄養を考えた食事やご飯と みそしるの調理を生かそう。	・栄養のバランスを考えたみそしるの実の組み合わ せの工夫を考えて差し合っている。	・おもい食べるための調理の仕方にについての課題を解決するために米飯及び汁を考慮した食事に 取り組もうとしている。	
1月		⑤よい買い物の仕方を えよう 教:p.62~63	○身近な物の選び方・買 い方について ○身近な物の選び方について理解する。	2	○身近な物の選び方について理解する。	・買い物の仕組みや消費者の役割が分 かる。 ○おもい食べるための調理の仕方にについて理解している。	・物や金銭の使い方と買い物について課題を解決する。	

月	テーマ	題材	小題材	時間	目標	評価の観点		
						知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2月	生活を見つめ、できるることを増やしていく	9 暖かく快適に過ごす着方 (3H) C(2)教:p.64~67	①どのような着方が暖かい着いだり。 ○衣服の主な動きや暖かい着方について考える。 ○教科書p.65写真が暖かい着方に気づき、衣服の主な動きや暖かい着方の特徴を話し合って、自分の課題を設定する。	0.5	○衣服の主な動きが暖かい着いだり。 ○教科書p.64イラストから暖かいことなどを話し合い、なぜそのような着方が暖かい着方であるかを考える。 ○教科書p.65写真が暖かい着方に気づき、衣服の主な動きや暖かい着方の特徴を話し合って、自分の課題を設定する。	・衣服の着用についての課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の着用について、課題解決に向けて衣服の活動を振り返って改善しようとしている。 ・衣服の着用について工夫し、実践しようとしている。	・日常着の快適な着方にについて問題を見だしして課題を設定している。	
			②衣服の動きを知ろう 教:p.66	1.5	○衣服をどのように着るかで健康で快適に過ごせるか、安全に生活できるかなどの衣服の主な動きについて考える。 ○暖かく快適な着方と衣服の主な動きについてまとめる。 ○教科書p.67野外活動に合う着方を考える。 ○活動に合う着方を発表する。 ○題材の第1回で設定した自分の課題を実際の生活でどう生かしていくか考える。	・衣服の主な動きが分かり、季節に応じて理解している。 ・衣服の着用について、課題解決に向けて衣服の活動を振り返って改善しようとしている。	・日常着の快適な着方にについて考え、工夫している。	
			③衣服の着方を工夫しよう 教:p.67	1	○日常着の快適な着方を工夫する。	・日常着の快適な着方にについて考え、工夫している。		
		10 暖かく快適に過ごす住まい方 (3H) B(6)ア(ア)、イ C(2)ア、イ 教:p.68~71	①寒い日はどうしているだろう 教:p.68	0.5	○住まいの主な動きが分かる。	・住まいの主な動きが分かり、季節の変化に合わせた住まい方について問題を見だしして課題を設定している。	・季節の変化に合わせた住まい方について問題を見だしして課題を設定している。	
			②暖かく快適な住まい方 教:p.69~70	1.5	○寒い季節の快適な住まい方が分かる。	・寒い日の生活で困っていることや不便なことをふり返る。 ○イラストや写真を参考に、寒い日を快適に過ごすための工夫を話し合い、発表する。 ○寒い日の過ごし方の工夫について、気づいたことをまとめる。	・住まいの主な動きが分かり、季節の大切さについて理解している。	・季節の変化に合わせた住まい方について問題を見だしして課題を設定している。
			③快適さアップを工夫しよう 教:p.71	1	○自分の生活に合わせて工夫し、快適な住まい方を実践することができる。	○家庭で調べてきた住まいの工夫を発表する。 ○自分の住まい方に合った快適さアップの方法を考える。 ○家庭でどのように実現していくかをまとめる。	・季節の変化に合わせた住まい方について考え、工夫している。	・季節の変化に合わせた住まい方について問題を見だしして課題を設定している。
		11 いつしにほつと タクミ A(1)ア、(3)ア(ア) 教:p.72~74	①ほつどするのは、どのはう うなどきにこう タイム 教:p.73	0.5	○家族や周囲の人との触れ合いや団らんに心の大切さが分かる。	・家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。 ○ほつどするのはどんなときか、学校や家庭での経験を発表する。	・家族とのよりよい関わりについて課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ・家族とのよりよい関わりについて課題の解決に向けて一連の活動を振り返って改善しようとしている。	・家族とのよりよい関わりについて課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。
			②周囲の人との関わりを考えよう 教:p.73	0.5	○自分の生活に気づいたことを発表 ○周囲の人とのつながりを深めるにはどうしたらよいのか話し合う。	・家族のメンバーや家族などを想定してほつどタイムの計画表を作成する。	・家族とのよりよい関わりについて問題を見だしして課題を設定している。	・家族とのよりよい関わりについて課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。
			③団らんでつながりを深めよう 教:p.73	1	○家族や周囲の人々と楽しく過ごすことについて考えたり、自分の生活中で生かすことを考えたり工夫したりする。	○家族や学校の人など集まりで楽しく過ごすためにどのような工夫ができるかを考える。 ○会話を工夫ややんげんな食べ物等を用意して実行してぶり返る。 ○学習したことをどのように学校や家庭で生かせるかを考える。	・家族とのよりよい関わりについて実践に向けた計画を考え、工夫している。	・家族とのよりよい関わりについて実践しようとしている。

評価の観点

月	テーマ	題材	小題材	時間	主な学習活動	知識・技能		思考・判断・表現	
						季節に応じた日常着の快適な着方について理解する。	季節に応じた日常着の快適な着方について理解する。	季節に応じた日常着の快適な着方について理解する。	季節に応じた日常着の快適な着方について理解する。
9月	過ごす育方と手入生活に生きるからかそそう	2 早い季節を快適にしよう 教:p99～101 B(4)ア,(イ), B(4)イ C(2)ア 教:p.98～102	③快適な衣生活を工夫しよう 教:p.102	3	○前時代で考えたことや実験から分かったことをもとに、季節に応じた日常着の快適な着方をまとめる。 ○衣服の手入れが必要であることや、衣服の扱い方や手入れの仕方について理解する。 ○衣服の手入れから必要なことを、100齋料から読み取る。 ○手洗いの手順、衣服の取り扱い表示を知り、手洗いによる洗濯ができる。 ○手洗いによるくつ下やシャツの洗い方を立てる。	○季節に応じた日常着の快適な着方について理解している。 ○季節に応じた日常着の手入れが必要であることを、洗濯の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ○季節に応じた日常着の手入れについて、工夫して、これからの自分の生活に洗濯の工夫をどう生かしていくか考える。	・日常生活を豊かにするための手入れの仕方にについて問題を見直して改善しようとしている。	・日常生活を豊かにするための手入れの仕方にについて、工夫している。	・日常生活を豊かにするための手入れの仕方にについて、工夫している。
10月	7 こんな感じで工夫して(1H) B(2)ア,(イ), (ワ),(エ) B(2)イ B(3)ア 教:p.112～118	①どのように違うところをどう使うかを考えている。 ②目的に合ったふくろを作ろう 教:p.04	8.5	○生活を豊かにするふくろを作ることで、工夫することができる。 ○生活を豊かにするふくろを作ることで、工夫することができる。 ○生活を豊かにするふくろを作ることで、工夫することができる。 ○生活を豊かにするふくろを作ることで、工夫することができる。	○自分の生活をより探し、手縫いやミシンで生活を快適にする。○身の回りにあるふくろを考えて、製作計画を作成する。 ○身の回りにあるふくろを考えて、製作計画を作成する。 ○身の回りにあるふくろを考えて、製作計画を作成する。 ○身の回りにあるふくろを考えて、製作計画を作成する。	・制作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・手縫いやミシンについて理解している。 ・手縫いやミシンによる目的に応じた缝い方及び用具の安全な取扱いについて理解している。 ・大きさによって、手縫いやミシンで作るための工夫を調べたり、話し合ったりして、実際に合った工夫を発表して交流する。 ○製作計画を作成する。	・生活を豊かにするための手布を用いた物の製作計画を設定している。 ・生活を豊かにするための手布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について、実践を評価した。 ・生活を豊かにするための手布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について、実践を評価した。 ・生活を豊かにするための手布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について、実践を評価した。	・日常生活を豊かにするための手布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について問題を見直して改善しようとしている。	・日常生活を豊かにするための手布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について、実践しようとしている。
11月	○おもしろく食べる調理計画について問題を見直して毎日の食生活に生きるからかそそう	③工夫して毎日の食生活に生きるからかそそう 教:p16～118	8	○前時代で考えた創立をもとに、栄養バランスのとれたいたしー課題を設けし、課題を解決する力を身につける。 ○おもしろく食べる調理計画について主体的に取り組むとする。	○前時代で考えた創立をもとに、栄養バランスのとれたいたしー課題を設けし、課題を解決する力を身につける。 ○おもしろく食べる調理計画について主体的に取り組むとする。	・目的に応じた調理や調理の手順を理解して改善しようとする。 ・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ・調理計画について理解して改善しようとする。	・1食分の創立やおもしろく食べるための調理計画及び調理の仕方について問題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・1食分の創立の仕方や調理の仕方について問題の解決に向けて改善しようとする。	・1食分の創立やおもしろく食べるための調理計画及び調理の仕方について問題の解決に向けて改善しようとする。	・1食分の創立やおもしろく食べるための調理計画及び調理の仕方について問題の解決に向けて改善しようとする。

月	テーマ	題材	小題材	目標	時間	主な学習活動			評価の観点
						知識	技能	態度	
1月	8共に生きる 地域での生活（4H） A(3)アイ 教:p.120～121	(1)地域の人々との関わり を見つめよう。 教:p.120・121	1	○家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることや、協力して助け合ってい必要があることについて理解できる。	Op.120-121のイラストから地域ではどのような人であることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解する。	・家庭生活は人々との関わりで成り立っていることなどが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解する。	思考・判断・表現	・地域の人々とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定している。	主体的に学習に取り組む態度
			2	○地域でできることは何だ ろう 教:p.122	2	○家族の一員として地域の人々とよく関わっているための計画を考え、工夫し、実践を試す。 ○家で調べたり、改善して生活をよくしようと家族の一人員として生活をよくしようと家族や地域の人々との関わりについてする。 ○課題の解決法に向けて主張的につき組み立てる。	○地域の中でできることをさがし、「地域の関わりプロジェクト」の計画を作成する。 ○家で調べたり、改善して生活をよくしようと家族の一人員として生活をよくしようと家族や地域の人々との関わりについてしたことから改善点を見つける。 ○計画表の見直しをする。	・地域の人々とのよりよい関わりについて、実践に向けた計画を考え、工夫している。	・地域の人々とのよりよい関わりについて、問題解決法について話し合っている。
			3	③やつてみよう。 教:p.123	1	○家族の一員として地域の人々と、よりよく関わるために取り組もうとする。 ○実践をふり返り、考え方について、実践をふり返り改善したり、生活を工夫したりして、実践をつけていく。 ○自分の生活が「環境」と「環境」との関わりについて理解し、環境に配慮した生活を考えようとしている。	○取り組みについて家族や地域で生活が生かしてもらって取り組みをさらに家庭や地域生活で生かす。 ○教科書p.124・125のイラスト上部「環境問題」と下部「わたしたちの生活」から、生活が環境に与える影響について理解する。	・地域の人々とのよりよい関わりについて、実践したりしている。	・地域の人々とのよりよい関わりについて、実践しようとしている。
2月	9持続可能な社会を生きる（4H） C(2)ア C(2)イ 教:p.124・125	(1)生活と環境のつながりを 考えよう 教:p.124	1	○生活と環境のつながりを 考えよう	1	○自分の生活が「環境」と「環境」との関わりについて理解し、環境に配慮した生活を考えようとする。 ○教科書p.124・125のイラストと環境への配慮の視点(手形)・自分の生活と環境との関わりや環境影響について考えること。	・環境に配慮した生活について問題を見だしして課題を設定している。	・環境に配慮した生活について、問題解決法について課題を設定している。	・環境に配慮した生活について課題解決法について課題を設定している。
			2	○物やエネルギーをどう使 うか 教:p.124	2	○環境に配慮した物の使い方などについて理解し、課題を見だしして解説に向けた取組みを考へる。 ○便利さや安全性などの視点から生活のあり方に考えて、能な社会の視点で環境への配慮について理解している。	・環境に配慮した物の使い方などについて理解し、課題を見だしして解説に向けた取組みを考へる。	・環境に配慮した生活について、考え、工夫している。	・環境に配慮した生活について、問題解決法について課題を設定している。
			3	○環境のことを考えた生活 を頑張よう 教:p.125	1	○実践や家族等が行っていることをふり返り、環境負荷に配慮した生活を継続していくこうとする。 ○環境負荷に配慮した生活を継続していくこうとする。	○便利さを選びつつ、環境に配慮するために、自分が貰いたいことを考える。 ○環境べた内容を共有し、生活の中から課題を見い出す。	・環境に配慮した生活について、考え、工夫している。	・環境に配慮した生活について、問題解決法について課題を設定している。
3月	2年間の学習を振り 返って、中学校の学 習に生かそう（1H） A(1)ア 教:p.126・127	2年間の学習を振り 返って、中学校の学 習に生かそう（1H） A(1)ア 教:p.126・127	1	○2年間の家庭科學習で学んだことの 活用の仕方を理解している。	・2年間の家庭科學習で学んだことの活用の仕方を理解している。				
			2	○家庭の仕事または家族や地域の人々との 関わりについて、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践し、記録・改善・改善するなどを通じて課題を解決する力を身に付けています。	○家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて、日常生活の中から問題を見つける。 ○課題の実践性・画面を作成する。 ○作成した画面を自分の友だちや家族と共にしたり、相談したりして計画を改善して取り組む。	・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題を見だしして課題を設定している。 ・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて課題解決法を考え、計画を工夫している。	・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題解決法について課題を設定している。	・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題解決法について課題を設定している。	
			3	○家庭の仕事または家族や地域の人々との 関わりについて、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践し、記録・改善・改善するなどを通じて課題を解決する力を身に付けています。	○家庭生活や家庭科学習をふり返り、話合いや発表を通して課題を見つける。 ○家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて、日常生活の中から問題を見つける。 ○課題の実践性・画面を作成する。 ○作成した画面を自分の友だちや家族と共にしたり、相談したりして計画を改善して取り組む。	・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題を見だしして課題を設定している。 ・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて課題解決法を考え、計画を工夫している。	・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題解決法について課題を設定している。	・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題解決法について課題を設定している。	
生活の課題と実践 A(4)ア (設定・計画・評価… 2H) 教:p.76～79	課題・計画 発表	1	○家庭の仕事または家族や地域の人々との 関わりについて、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践し、記録・改善・改善するなどを通じて課題を解決する力を身に付けています。	○家庭生活や家庭科学習をふり返り、話合いや発表を通して課題を見つける。 ○家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて、日常生活の中から問題を見つける。 ○課題の実践性・画面を作成する。 ○作成した画面を自分の友だちや家族と共にしたり、相談したりして計画を改善して取り組む。	・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題を見だしして課題を設定している。 ・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて課題解決法を考え、計画を工夫している。	・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題解決法について課題を設定している。	・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題解決法について課題を設定している。		
			1	○家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けた主張的につり組みたり、ぶり返って改善して、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。	○家庭や地域の人々の取り組みの発表を見て、気づいたことや改善点についてアドバイスする。	・さらにによりよい生活にするために、家庭の仕事または地域の人々との関わりについて、問題解決法について、考えたことを分かりやすく説明したり、改善したりしている。	・家庭の仕事または地域の人々との関わりについて、問題解決法について、問題解決法について取り組もうとしている。		